

- 1864 種村季弘「アリスの肖像画家たち」(種村季弘『影法師の誘惑』(冥草舎, 1974年) p. 39-49)
 以下に既出。
 [0660] (1973年)。
 以下に再録。
 1. 種村季弘『影法師の誘惑 種村季弘のラビリントス2』(青土社, 1979年) p. 37-47。
 2. 種村季弘『影法師の誘惑』(河出書房新社, 1991年, 河出文庫) p. 41-50。
- 1865 種村季弘「少女論」(種村季弘『影法師の誘惑』(冥草舎, 1974年) p. 30-38)
 以下に既出。
 [0681] (1973年7月)。
 以下に再録。
 1. 種村季弘『影法師の誘惑 種村季弘のラビリントス2』(青土社, 1979年) p. 29-36。
 2. 種村季弘『影法師の誘惑』(河出書房新社, 1991年, 河出文庫) p. 32-40。
- 1866 ドーマウス協会/桑原茂夫『アリスのティーパーティ』(河出書房新社, 1986年, 河出文庫)
【文庫】 p. 111。
- 1867 富島美子「拒食の国のアリス」(『夜想』26号, 1990年5月, 特集「少女」 p. 118-124)
- 1868 富山太佳夫「ルイス・キャロルと動物の生体解剖」上(『ユリイカ』24巻4号通巻319号, 1992年4月, 特集「ルイス・キャロル」 p. 75-81)
- 1869 伴田良輔「“生みの父親”が撮ったアリスとピーター・パン」(『芸術新潮』40巻2号通巻470号, 1989年2月, p. 81-89)
- 1870 『「不思議の国のアリス」展』(アプトインターナショナル, 1993年)
 1993年に日本で開催された「「不思議の国のアリス」展」の展覧会カタログ。
 以下の10編の寄稿も収録。
 1. 高橋康也「不思議な顔のキャロル」(p. 10-11)。
 2. 高山宏「いまだ知られざるキャロルのために」(p. 13-15)。
 3. 脇明子「不合理の守護神 キャロルとアリス」(p. 16-17)。
 4. 吉田新一「「アリス」に挑んだイラストレーターたち」(p. 27-29)。
 5. Justin G. Schiller「“幻の初版本”騒ぎのてんまつ」寺岡裏訳 (p. 146-147)。
 6. 末吉暁子「迷宮としてのワンダーランド」(p. 148-149)。
 7. 柳瀬尚紀「翻訳類推キャロリー計算 「アリス」から『フィネガンズ・ウェイク』へ」(p. 152-153)。
 8. Charles C. Lovett「アリスはどこにでも顔を出す」伊藤実佐子訳 (p. 164-166)。
 9. 原昌「「二つのアリス」、日本での受容史」(p. 174-177)。